

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立青い鳥成人寮	所管課	障害福祉課
所在地	甲府市下飯田二丁目10番1号	設置年月日 (改築年月日等)	昭和51年6月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨ライトハウス、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青い鳥福祉センター設置及び管理条例		
設置目的	18歳以上の知的障害者(盲)に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	居住棟:鉄筋コンクリート造・1部2階建・延床面積 1,457.07㎡ 陶芸作業棟:鉄骨造2階建・延床面積 143.30㎡ 紙工作業棟:鉄骨造2階建・延床面積 311.36㎡ 別館:鉄骨造2階建・延床面積 213.30㎡ 旧知的障害者入所更正(60名)、短期入所(4名)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用者に対するサービス業務 ・旧知的障害者入所更生 ・短期入所 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	○山梨県立育精福祉センター (障害者支援施設:生活介護(105)、施設入所支援(90)) (知的障害児施設(70))
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	利用者数(入所)	61	61	60	60
	短期入所(月平均利用人数)	5	7	19	4
	利用者数合計	66	68	79	
	目標値				
	目標値設定の考え方	良質なサービスの提供を図る指標として、施設が利用者一人ひとりに作成している個別支援計画の達成度合いがあるが、障害者の障害程度が異なり、個別支援計画の目標達成度合いを一律に1年間で評価することは難しいことから、年度ごとの具体的な目標管理は出来ない。			
	対19年度比	100.0%	103.4%	119.4%	0.0%
稼働率	101.6%	101.6%	100.0%	100.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	219,538,878	214,000,000	222,985,710	217,848,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	3,674,701	1,500,000	3,097,753	1,695,000
	収入合計(A)	223,213,579	215,500,000	226,083,463	219,543,000
支出	人件費	109,832,114	118,117,433	118,117,433	138,073,250
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	74,391,006	74,026,720	74,026,720	50,246,800
	(うち外部委託費)(B)	22,034,719	14,596,624	14,596,624	
	支出合計(C)	184,223,120	192,144,153	192,144,153	188,320,050
収支差額(A-C)		38,990,459	23,355,847	33,939,310	31,222,950
外部委託比率(B÷C)		12.0%	7.6%	7.6%	0.0%
利用者一人当りの経費		0	-	0	-

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年2月~22年3月、 実施方法:利用者へ聞き取りによるアンケート、 回答数:40人
-------	--

単位: %

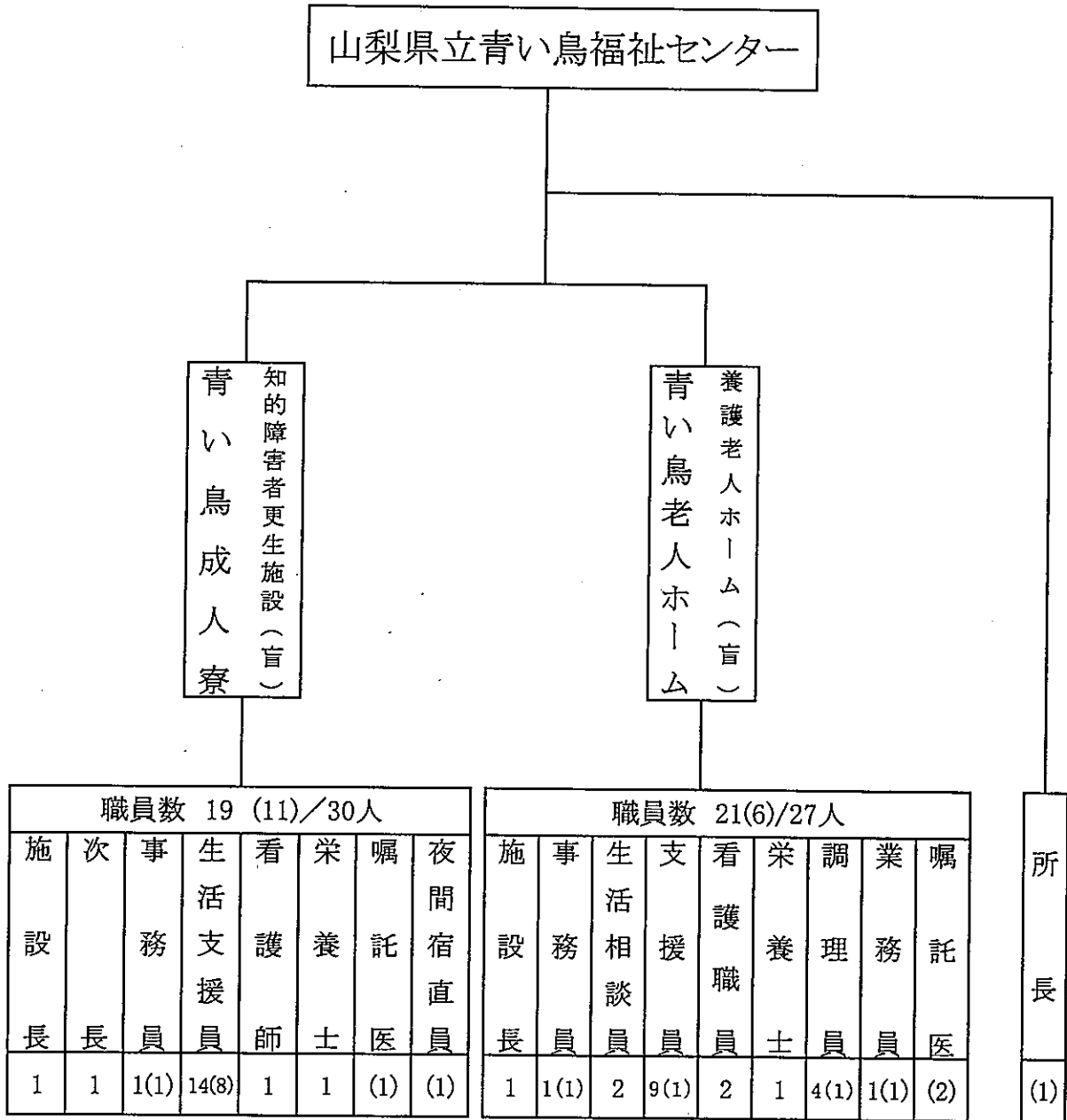
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	25.0%	60.0%	15.0%	0.0%
行事等	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
食事面	15.0%	80.0%	5.0%	0.0%
入浴支援	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
健康管理面	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
利用者のケア	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
金銭管理	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	41.4%	55.7%	2.9%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・引き戸が堅い。設備をよくしてほしい。ひとり部屋がほしい。押し入れが狭い。 ・おかずの種類を増やしてほしい。味付けがおいしい。おやつは毎日でなくてもいいから量を多く食べたい。 ・もっと外出をしたい。自由に買い物に行きたい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・再整備事業の設計に利用者の意見等も組み入れている。施設で改善出来る修繕などは積極的に行い、住みよい施設作りに努めた。 ・月に1回給食会議を行い、利用者の意見を取り入れている。栄養士による嗜好調査を行い栄養バランスの整った食事提供に努めた。 ・個別支援計画に基づき支援を実施している。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設は老朽化しているが、法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運營業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、概ね適正に実施されている。 今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	該当なし	該当なし
利用状況	各サービス事業の年間利用実績は以下のとおりであり、概ね計画どおり執行出来た。 ・入所 100% ・短期入所 222人 (年間利用延べ人数)	関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のためのPRに勤めている。今後も引き続き利用者のニーズに沿ったサービスの提供のために努力されたい。
収支状況	支出を節減し効率的な運営を行うよう努力した。	コスト削減により、効率的な運営・管理が行われた。 引き続き同様の経営が実現できるよう努力をすること。
利用者満足度	施設の老朽化により不具合箇所もでていますが、出来る範囲での修繕を行い利用者の生活に対応している。現在施設の改修中であり、設計では利用者の意見等も取り入れている。 利用者の視点に立ったサービスの提供を心がけていく。	今後においても利用者のサービス向上のために努力をすること。
運営目標の達成状況	個別支援計画について定期的に検証し、利用者一人ひとりの支援に反映されていたことから、運営目標は達成された。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	①施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運營業務等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。 ②経費削減に努めている。 ③利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に向け努力した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	①施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えているが、早期に対応し生活に支障が起きないように努力していく。 ②今後も経費削減に努めていく。 ③今後も利用者個々のニーズに対応できるようさらに努力していく。	

山梨県立青い鳥福祉センター組織図



()は嘱託